

# Working mother

ワーキングマザー



資格取得をとおして、  
子ども達にお母さんの  
頑張る姿を見せたい

## 乗松 佳子さん

- 家族構成 / 夫・子ども3人(10才・9才・4才)  
義父母の7人家族
- 子どもの預け先 / 保育園
- 仕事 / フォントレーディング株式会社
- 職種 / 1級建築士として  
設計管理・営業
- 勤務時間 / 9:00~16:30 週5日
- 勤務歴 / 17年



## タイムスケジュール

05:30	起床
06:00	朝食
07:00	見送り
08:30	出勤 保育園
09:00	仕事
12:00	昼食
17:00	退勤・お迎え
18:00	帰宅
19:00	夕食・入浴
20:00	子どもと遊ぶ、明日の準備
21:30	就寝

## —インテリアへの夢から建築家の道へ

私は幼い頃からイラストを描いたり、ブロックで家の模型を作って遊ぶのが大好きな子どもでした。短大時代は「インテリアの仕事に就く」と目標を定め就職活動をしました。知識を深めていく中、表面の装飾をほどこすインテリアより、何もなかったところから自分のイメージをデザインする建築の世界に強く魅かれるように。思い切って進路を変更し、設計事務所へ入社しました。しかし、夜遅くまでの残業の日々に希望を見いだせず、ほどなく退職しました。それでも建築の道をあきらめきれずにいた時、母校の先生から紹介されたのが現在の建築会社です。

## —勉強を中断していた10年があったからこそ

建築士の仕事は、お客様の夢と一緒に作り上げていくやりがいのある仕事です。仕事の幅を広げたいという思いから、二級建築士、宅建、そして難関の一級建築士にチャレンジしました。合格まであと一步のところまで、ちょうど結婚が決まり、長男、年子で長女、5年後に次女の出産。ここからは仕事と子育てに追われ、勉強どころでなくなりました。家族が増えることはとても幸せでしたが、どこかに夢を置いてきたような、心から喜べない気持ちが残りました。ふつふつとした思いはやがて「もう一度一級にチャレンジ!」という決意に変わり、同業の夫を説得し、夫婦で一級試験への勉強を再開することにしました。

## —家を建ててくれるお客様の役に立ちたい。子ども達に頑張っている姿を見せたい。

「1年間で合格を決める!」と、昼休みや子ども達が寝た後、早朝など時間を見つけ1日4時間の勉強時間を捻出。独身の頃とは環境も立場も違い、とにかく制約が多い毎日に何度もくじけそうになりました。自分のやる気だけにたよっていたら、とっくに諦めていたと思います。

合格したときは「やっと解放された」というのが正直な気持ちでした。振り返ってみると、努力したことは今の自分を楽にしてくれ、仕事と生活のバランスもはかれるようになったなど実感します。加えて夫の合格は、自分の何倍もうれしかったです。

3回の育休取得や仕事と勉強の両立は、職場と家族の理解があったからこそ実現しました。子ども達にもコツコツ努力する両親の姿を見せることができよかったと思っています。

## NPO法人ワークライフ・コラボの シゴト×ライフスタイル

### ★ポイントはこちら★

資格をとって仕事に活かしたい、また、学びを深めたいママの声を多く聞きます。でも、忙しい日常から勉強時間を作るのは至難の業。試験を受けなくても、時間管理や生活の優先順位を見直してみることはじめてもいいかもしれません。



### 今回の取材担当

## 高橋 浩子

大学2年、高校3年の娘二人と夫の4人家族。趣味のランニングはストレス解消に一役買っています。

### イベント・各種情報アップしています!

【FB】▶ <http://www.facebook.com/worcolla>  
【HP】▶ 「ワークライフ・コラボ」で検索